

## — 誰もが挑戦できるまちを目指して

地域をよりよくしたい。

誰かのチャレンジを応援したい。

皆さんと一緒に、はまらいんや！

気仙沼の  
気になる  
若人特集

気仙沼のために  
何かやってみたい！



### — 気仙沼の高校生マイプロジェクトアワード

気仙沼に在学中の高校生が、自分の興味関心をプロジェクトにして地域で実践したこと、これから実践したいこと（マイプロジェクト）を地域の人に向けて発表する場（延べ卒業生69人）。

当日の様子を  
オンラインで  
閲覧できます  
(申込必須)



### 海との生き方、次世代へ

浜わらすでは、小中学生向け自然体験プログラムづくりを通して、年間200名以上の子どもたちに自然を通して学ぶ機会を提供しています。また、日門定置網漁業生産組合に所属する漁師としても活動しており、10年後の漁師たちにつなぐ環境修復型漁業を目指しています。



1期

NPO 法人浜わらす 代表  
かきはら かずき  
笠原 一城 さん（栗原市）

※0 は出身地

### 子ども達の豊かな未来のために

パンの製造・イベント販売をする「パン工房ひこばえ」（自主育休中）と、会員制の子ども古着シェアサービス「みんなのたんす」を運営しています。地場産品や遊休化した子ども服の地域内循環を通して、地方ならではの持続可能なライフスタイル創出を目指しています。



2期

個人事業主「ひこばえ」  
たかはし  
高橋 えり さん（岩手県）

Pick up!

### まちづくり実践塾「ぬま大学」

「気仙沼で何かやってみたい」という若者が、気仙沼で実行するまちづくりプラン（＝マイプラン）を作り上げていく実践塾です。約半年間の講義を通して、自分や地域について考え、多様な人とつながりながらマイプランを作成し、最終報告会で地域の人に向けて発表します。

対象：10～30代の若者  
卒業生：80人（1～6期）



### ○市人材育成事業はこのほかにも...

地域住民による主体的なまちづくりを推進するため、さまざまな年代・分野に対応した、地域の担い手育成を行っています。

事業	対象	延べ卒業生
アクティブウーマンズカレッジ (AWC)	10～40代の女性	56人
アクティブコミュニティ塾	40代以上の市民	48人
気仙沼経営人材育成塾	経営者や起業家	21人 ※先行事業の経営未来塾は85人

同世代に伝える震災の記憶

小学生の時に被災した経験から、気仙沼向洋高校語り部クラブに所属し、震災の記憶が残っている最後の世代として「伝える」活動をしています。次の若い世代に災害を自分事として捉えてもらい、それを周りに広めていく「防災の輪」が広がっていくことを目指しています。



気仙沼向洋高等学校 3年  
くまが い たつき  
熊谷 樹 さん

在宅で看取りやすい社会を創る

訪問看護師になるという夢から、在宅介護について興味を持ち、地域の方にヒアリングを行ってきました。同世代の高校生にも在宅介護に興味を持って欲しいという思いが芽生え、高校生でもできる介護予防体操を作って広めるなどの広報活動をしていきたいと考えています。



気仙沼高等学校 2年  
まし ゆい こ  
岸 佑衣子 さん

気仙沼再発見の旅への招待状

観光で気仙沼を盛り上げたい!という思いから、SNSを使って今の気仙沼を伝える活動を始めています。2人が魅力を感じる気仙沼スポットを集めた観光コースを発案し、SNSで中高生や若者世代に発信することを通して、コロナ終息後の来沼者へ繋がることを目指しています。



気仙沼高等学校 2年  
ふじた こまつ  
藤田 小松  
亜美 さん 美穂 さん  
Instagram アカウント

子どもたちのグローバル化

子どもの頃から英語が大好きで、英語を学ぶことで将来の可能性が広がることを体感した自身の経験から、もっと小学生に英語を学ぶ楽しさを知ってもらいたいと思い、英語体験教室を開催しました。英語を楽しむ人が増えることで、グローバルなまちを目指しています。



東陵高等学校 1年  
よしの もあ  
吉野 桃愛 さん



ママとパパの子育てお助け隊!

子育て中のママという当事者でありながら、地域のママとパパにとってもっと子育てしやすい環境づくりを目指して活動しています。現在は子どもを気軽に預けられる出張託児や、少人数で集まる出張イベントの開催を中心に、コロナ禍でもできる事業を中心に行っています。



5期  
絵本カフェ 架け橋  
はんざわ たけなか  
半沢 竹中  
裕子 さん 幸 さん (本市)

地球も皆も心地よい暮らしを

デザイナーとしてチラシやロゴの作成、ワークショップデザインを行っています。また、現在は環境問題に興味を持っており、昨年10月に実施したぬま大学ラボ第2期にて、ゴミを限りなく減らす「ゼロ・ウェイストに挑戦する暮らしラボ」のテーマオーナーを務めました。



3期  
個人事業主「荒屋デザイン」  
おののち まき  
小野寺 真希 さん (本市)

ダンスから挑戦を楽しむまちへ

まち大学運営協議会の地域おこし協力隊として活動する傍ら、ブレイクダンスを通じた身体表現の楽しさを発信する団体「KESENUMA BREAKERS」を立ち上げて活動しています。ダンスの体験イベントやスキルアップクラスを展開しており、1月からは子ども向けのスクールも始めました。



6期  
まち大学  
運営協議会  
わたなべ しゅうじ  
渡辺 修司 さん (千葉県)  
発表の様子はオンラインで!

皆がやりたいを実現できる社会

市内の障がい者施設で働いており、日々の業務に加えて、「利用者さんが地域の中で自分の生きがいを見つけることができる」ことを目指して活動しています。ぬま大学ラボ第2期では「障がいがあってもなくても関係ない自己実現ラボ」のテーマオーナーを務めました。



4期  
社会福祉法人洗心会 職員  
こんの りょう  
金野 諒 さん (本市)